

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「クラシックTV」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

指揮: 三ツ橋 敬子



©Earl Ross

東京藝術大学及び同大学院、ウィーン国立音楽大学、キジャーナ音楽院を修了。第10回アントニオ・パドローティ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。神奈川県立音楽堂「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」や、石川県立音楽堂「ジュニアのためのコンサート」等を企画制作より携わり、子供たちに多彩な音楽体験を届ける活動を精力的に行っている。

東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

司会: 塚本 江里子



©Ayane Shindo

小さい頃から歌うことが大好きで、小学校では合唱を頑張る。東京藝術大学声楽科、同大学院オペラ科でたくさんの音楽を勉強し、ガチャピン・ムックでおなじみの子ども向け番組【ポンキッキーズ】にて歌のおねえさんになる。子どもの歌から、オペラ、ミュージカル、司会、ボディパーカッションなど、色んな表現で全国の人々と音楽で交流。「くちびるに歌を心に太陽を」をモットーに、音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。音楽ワークショップ『ミーゴのまほう』をYouTubeで配信中!みてね!

令和7年度 学校巡回公演 東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



東京フィルが やってきた!

知ってますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程

開催日程	開催校
9月17日(水)	山形県新庄市立萩野学園
9月18日(木)	山形県河北町立溝延小学校
9月19日(金)	栃木県宇都宮市立雀宮中央小学校



イラスト:こやまけいこ

「学校巡回公演」

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

★ 月 日のワークショップから、  
みんな準備してきました

顔が見えるほど  
近い距離で東京フィルを  
聴けてよかった!



オーケストラの楽器もご紹介。



「ア〜〜ウ!」  
ボディパーカッションで  
音楽に合わせてポーズ!



みんな歌詞を考えました。

ボディパーカッション、  
きちんと練習して  
おきたいと思います!



先生も歌詞を考えます。

コンサートは80名の  
フルオーケストラ……  
今からとても楽しみです!



そして今日!

速さにびっくり!  
きれいな音でびっくり!  
大迫力にびっくり!

東京フィルがやってきた!

プログラム

ロッシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

オーケストラの楽器、紹介します  
(楽器紹介コーナー)

ロジャーズ: 『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」  
アメリカ(1902-1979)

指揮者になってみよう!  
(指揮体験コーナー)

ブラームス: ハンガリー舞曲第5番  
ドイツ(1833-1897)

みんなで鳴らそう!

シャーマン兄弟: 小さな世界  
アメリカ(1925-2012/1928-2024)

みんなで歌おう!

ベートーヴェン: 交響曲第5番『運命』第1楽章より

解説

文: 柴田克彦

ロッシーニ(1792-1868):  
歌劇『ウィリアム・テル』  
序曲より  
「スイス軍の行進」

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍をえがいたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗ってかけていくような行進曲が、さっそうとくり広げられます。

ベートーヴェン(1770-1827):  
交響曲第5番『運命』  
第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャー”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう!

シベリウス(1865-1957):  
交響詩  
『フィンランディア』

フィンランドの作曲家シベリウスが書いた、熱く力強い作品。ほかの国に支配されてきた国民の心を大いに勇気づけたこの曲は、フィンランドの第2の国歌として愛されるようになりました。美しい中間部には、いくつかの歌詞が付けられていますが、今回は、みんなで作ったオリジナルの歌詞で気持ちを込めていっしょに歌いましょう。

みんなで鳴らそう!  
ボディパーカッション

ロック  
のリズム

クッ! クッ! クッ! クッ! クッ!

ラテン  
のリズム

トッ! トッ! トッ! トッ!

日本  
のリズム

どん どん どん カカカカ  
どどん=どん! はっ!

みんなで歌おう!  
フィンランディア

みんなで考えた歌詞で  
オーケストラと大合唱



……クラシックはどんなふうに表現するかな?  
「運命」をいっしょにやってみよう!



キーワードをたくさん出して  
歌詞を作りました